

INST LEAVE HOUSE ADLUTONLY

p.12

p.24

p.24



p.09

p.16

p.17



あの部屋は本当に汚くて嫌なおいにする部屋だったわね……

その台上で待たされて十分位経った頃だったかしら？



お嬢様……



男の野太い声で私は呼ばれて思ったわ……

どうして……こんな事になってしまったのか……



最初はいつもの悪い冗談かと思いましたが……

この様な場所に本当に連れて来られると……



でも、すぐに
その期待は消し飛んだわ……



そして、これがお嬢様の
最後の命令なのだと解った……



私はこの期に及んでも
まだお嬢様の悪戯だと思つて……

……え、これは正しくないわね
今、思い返せば願つてたのじゃありません……



この辺りまで来ると
あのお嬢様に捨てられたショックで
茫然自失よ……

本当は
夢の中なんじゃないか、つて
思つたわ



だってこんなコト、現実には
させられるなんて想像できるわけが
ないでしょう？

いくらお嬢様に
散々弄ばれた私だって……

こんな場所で……
自分を売る為にオ○ンコを見せる
なんて……



お嬢様も……ね……



誰しもがこちらを見てるのが
困惑してる私でも解ったわ……

すぐにあれだけ
うるさかった声が消えて

その時、私は……
自分が良く解らなくなつてたわ

げんげん

げんげん



お嬢様になつてこんな風に見せた事なんてない……
そういう辱めを受けさせてあげたいのよ、体は……

げんげん

信じられない程
昂ぶつて……！



その時
自分の隠された部分に
気付いたわ……



それは、お嬢様だつて
失望するわよ……



いくら掃除ができたつて
料理ができたつて……
便利だからって……





そうよ……
私みたいなの……

視線だけで
アクメする女なんて
傍に置くわけないってね……



いえ、知識としては
知ってましたけど……
その……



いった後は
もう大分参ってたけど……

その後は本当に
思い出すだけで
嫌な気分……！



オチ○ポを……
……男の人のモノを
見た事は初めてでしたわ……

い……

それどころか男の人と
触れ合うこと自体が殆ど……

そんな私がいきなり……ね？

本当に怖かった……
それに何より怖かったのは……



後で聞いた話だけあの男は
奴隷としてそこで飼われてる
そうで……

これから何をされるのかが
すぐに解ってしまった事……！





そんなモノがどうして
いきなり私に……なんて



快樂と共に
お尻の穴をガバガバに
破壊して……ね



生意氣な奴隷をこの台上で
屈辱させる為の道具らしいわ……



どうしてって……
アナルセックスなんて
知らない私でも……

あんなオチ○ポ
入れられたら……
夕夕では済まないのは
解ったわよ……!!



その時の私にはそんなコト
考えてる余裕は無かった
けど……

知ってるかしら？
想定外の感覚には人間って
声が抑えられないのよ？

もう、こうなってますわ
豚と同じ様なものですわ

体の内側から無理矢理
引き裂かれる様な感じがして…
ひどい吐き気もあったわ…

でも…

鍛えてたお陰かしら、私の穴は
ギリギリで壊れなかった…

運がいいのか悪いのか
セックスになったのよ…





でも、それだけじゃなくってね？



最初は引き抜く時、肉を捲りあげていく感じが...

アレを出す瞬間がずっと続くのよ？凄かったですわ...頭に響いて.....



初めてのセックスは.....

男に身体から支配される快楽は強烈だったわ...こんなにイイ事だなんて私は知らなかった.....

何度も突かれる度に体が作りかえられてるのが解った.....

あの時は本当に全部が...どうでもよくなっていた.....

あのまま続けてたら
私は別の意味で
壊れてたかもしれないわね...

幸せ過ぎて……ね？
そうはならなかったけど……

それでも、半分は
あの時壊されたわね……

大量のゲーメンが
注ぎ込まれた時は……

今までの私を全て否定された様な
気分になったわ……



その後の事？
ああ、私が入札の事は
余り覚えてないのよ……



お嬢様との思い出とか
セックスの事とかで
頭がゴチャゴチャで……



そうね、あそこ「彼」に相当
気に入られたらしい事は
覚えていきますわ



嘘だと解ってたけど
心は動いたわ……



それで、私を買った男ですね……
あの「豚」は私の身の上を哀れんでましたわ……

ああ、私が犯されるのを見て
頑丈さで買ったのですもの……



相当御しやすかったのは間違いないわ……
この私に首輪までを付けさせて……

それでもあの時の私は……
やはり相当こたえてたので

私は日課としてお掃除を
強要されましたわ……

ロクに洗ってもいない
オチ○ポを銜え込んで

溜まってるザーメンを
スッキリさせる
仕事なのだけど……

……コレが
本当に厄介でね？

あそこで女を買ってる男が
マトモじゃないのは解ってたわ……

それで
この豚は……とんでもない
遅漏でね……

仕方なく……
オマシコで
出させようと
するのだけど……

最初の頃はきゅっと
締めればあっさりと
射精してたのだけど……

身体が馴染んで
きてしまったのかしらね……

ちよつとやそつとじゃ
射精さなくなったのよ……





さんざん使い込んで
オマ○コよりも
細くなっちゃった……



私のケツ……マ○コ……



気付いたら私は
弱点だらけになっちゃった……

痛い……



ここを穿りながら
オマ○コすると良く締まる
って事は言ってたけど……

今思えばむしろ
締りが悪くなって

長い時間私を責め倒す為
だった……のかもしれないわね

毎日何時間も射精させられないまま豚じゃ口ロロごめだて...



その後待つてゐるのは...お仕置きですわ...



射精できなかった時間と同じ時間だけ豚は叩き続けたわ...

まあ、それでいつもは終わりなのだけれど...あの日は違ったの...

私をがに股して...よ?それに二回りはお尻が大きくなったわ...ホント、無様...

お尻お尻お尻





いきなり膝が狂った様に
腰を突きこんできてね……



もうじゃなくてね……

あれが本当の膝の
セックスだったのよ



…最初は射精せなかった
八つ当たりなのかと思ったけど



ひどいセックスだったわ...
 だけど...その分



腰が今更で
 優しくしてたのが...



壊さないで
 子宮まで仕込める様にお膳立てしてたのが...



私を愛してくれてたのが
 伝わってきた...

アキコ

アキコ



でもそれ以上に
死んでしまうかと思う位
幸せだった……

他に何もいらぬ位……



その時背中から
凄くアクメが来てね？

私が壊れたのはこの時かしら……？
気持ち良すぎたのも認めるわ



啼き叫んで
この豚の愛に惚えるのが……
私の幸せ……



雌としての……
本当の悦びを知ったわ……



お漏らししてたらしいのだけれど
その事自体は覚えてないのが
幸いだわ……

オマ○コに出し入れ
されてるだけでこんな
幸せになれるなんてね……

本当に、全部ひっくり返ったのよ？
今までしてたセックスは
一体なんだったのか
考えちゃうくらいね……

それから後はもう……
セックス漬けだったわ



それどころか……
いつもオマ○コ
ハメ倒されてる
感觸で目が覚めるのよ……



それまでは朝の奉仕だけ
だったのだけとね……？
あの日以降は……
毎晩失神するまで
彼に愛されたわ……



いつまで経っても慣れなくて
つい、驚いちやうのよね……

でもすぐに幸せになって……
また、失神してもオチ○ポで
無理矢理起こされて……

その繰り返し……
何も考えられない
地獄のような天国が
続くのよ？



子宮は愛されてから
三日位でかしらね？



なんの抵抗も無く……
彼のオチ○ポを銜え込む
穴になりましたわ



こんな素敵な事が
自分にできたなんて……

そう思った時……
心も身体も完璧に
壊されたのが
解ったわ……



すぐに...
考える事が
できなくなつて

オチのポに
穿られる

どんどん感覚が
無くなつていつで
オチのポだけになつて...



自分が
何をしてるのかも
解らなくなつて.....

オチのポに穿られる
だけになつて...



お嬢様っ今まで
 ありがとうございます♡



わたしっ……♡

もう全部
 いらないっ♡



……せーっ、あなたでっ……♡

咲夜……
 お前は何だ？



お嬢様っ





どうも、レミリア様
こちらが約束の犬です

あらあら？
思ったより時間が
かからなかったわね？
ダメだったかしらこの子？

いやいやそんな事は…
これは、お人が悪い…

あ、いや、レミリア様は
鬼ですから問題
ありませんな

しかし人は支えを
失うと…この様に

そうねえ

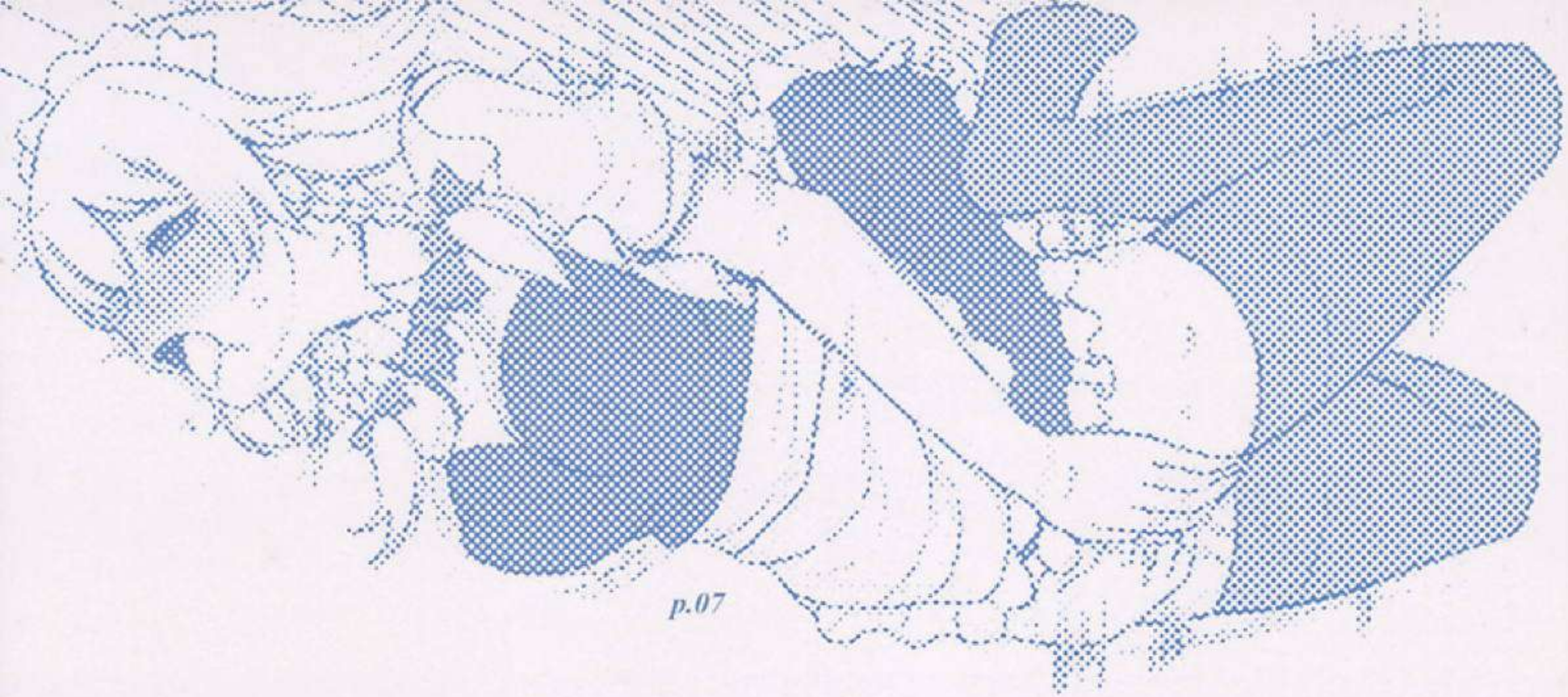


これからはずっと
私が支えてあげるわ

がっ

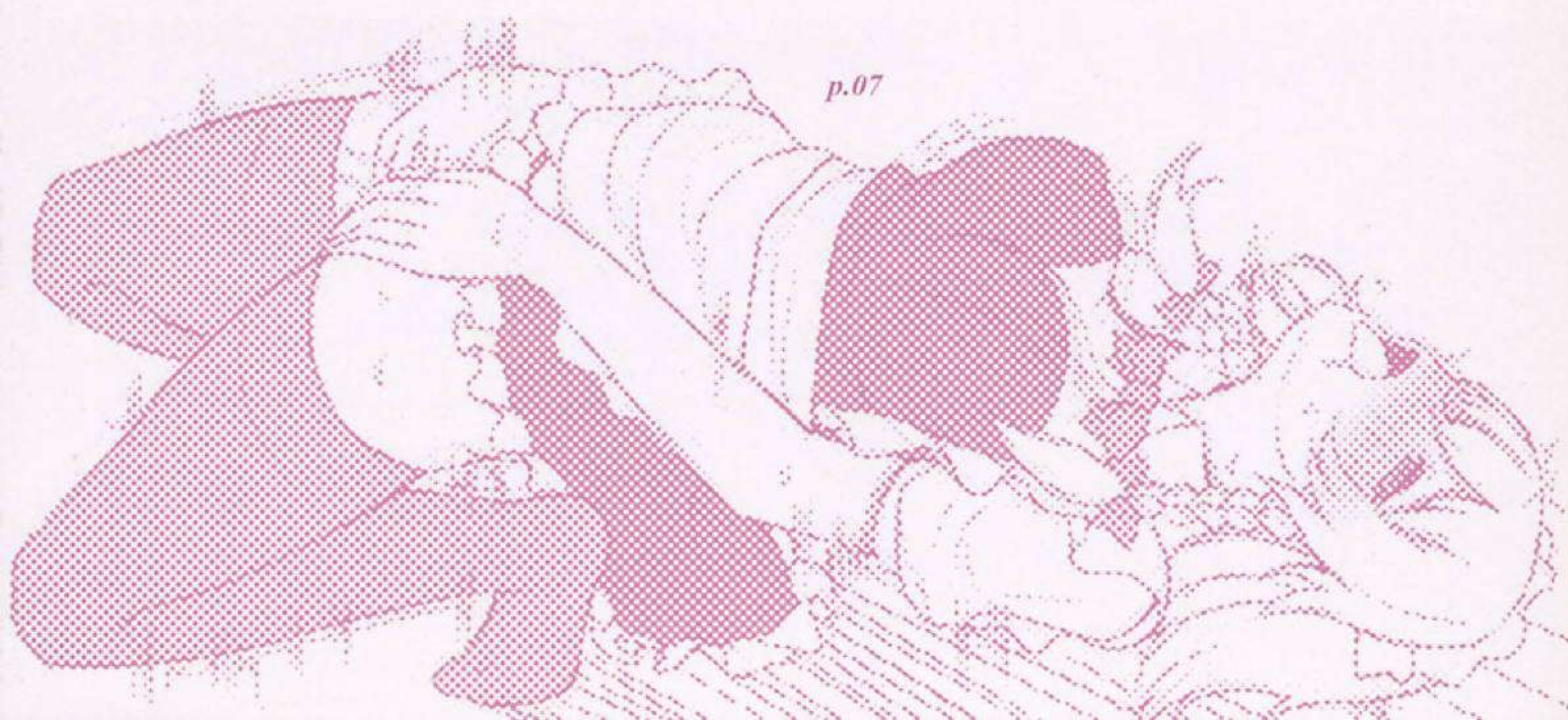
そう、ずっとね

それは幸せな事で



p.07

**INST
LEAVE
HOUSE
ADLUTONLY**



p.07